ひと × いきもの

HUMAN and LIVING THINGS

東京都立埋蔵文化財調査センター
平成 31 年度企画展示

2019 3.21 木・祝 → 2020 3.08 日

開館時間 9:30 ～ 17:00
（11~2 月は遺跡庭園のみ 16:30 まで）
休館日 年末年始　入館料 無料

ひと × いきもの

このふたつには、どのような関係性があるでしょうか。食料である、利用する、使役する、可愛がる・・・現代においても多様で、とても一言では言い表せません。では過去の人々はどうだったのでしょう。今回の展示では縄文時代から江戸時代までの動植物・菌類に関わる遺物を集めました。長い歴史の中で人間は自然とどのような関係を築いてきたのか。私たちが過去から学ぶべきことは何か。「ひと」と「いきもの」とは、どうあるべきか。ぜひ共に考えてみましょう。

愛媛県上黒岩岩陰遺跡出土　縄文犬埋葬骨 1 号犬
慶應義塾大学民族学考古学研究室寄託
久万高原町教育委員会所蔵

展示内容

獲 縄文時代は狩猟採集が生活の基盤でした。ひとは動物を狩り、食料としてだけでなく、道具の材料や装身具にも活用していました。縄文時代の石器や骨角製品、貝製品を中心に、縄文時代の動物の獲得と利用に関する展示を行います。

採 縄文時代の頃、植物資源を盛んに採集していました。ひとは植物の特性をよく知り、生活のあらゆる場面で活用していました。縄文時代のウルシや木材加工などの植物資源利用に関わる展示を行います。

育 弥生時代以降に大陸から農耕を始めとする様々な技術が伝わると、人々の暮らしは大きく変わりました。ひとの手によって、積極的にいきものを育て、利用するようになります。農具や馬具、また江戸時代の麹作りに関わる展示を行います。

友 犬は人類最古の家畜といわれ、遥か過去からひとと共にありました。丁寧に埋葬されることもあり、家畜以上の、友ともいえる関係を築いていたのかもしれません。日本最古の縄文犬の埋葬骨、江戸時代の武家屋敷で飼われていた愛玩犬の埋葬骨を展示します。

愛 江戸時代になると庶民の間でも動物を飼ったり、鉢植えを育てたり、いきものを愛でることが一般的になります。いきものを模った土人形、小鳥のための小さな餌入れなど、いきものが身近にあったことを示す展示を行います。

祀 自然崇拝は世界中で見られます。縄文土器の動物意匠も動物に神聖さを見出し、祭祀に用いたという説があります。祭具に動物意匠を取り入れることは縄文時代に限らず、後の時代にも見られます。ここではいくつかの時代の、動物意匠の遺物を展示します。

多摩ニュータウン No.67 遺跡出土
縄文土器 双蛇把手
東京都教育委員会所蔵

ギャラリートーク

学芸員による展示解説を行います。下記の時間に展示ホールにお集まりください。
1 時間程度を予定しています。

日時：　6/15㈰　9/14㈯　10/22㈫㈷
12/14㈯
午前の部 10:30、午後の部 14:00
7/25㈭　8/1㈭　8/8㈭
8/15㈭　8/22㈭　8/29㈭
午前の部のみ 10:30
場所：当センター展示ホール
人数：申込不要・自由参加

文化財講演会

時間：13:30 ～ 15:30（13:00 受付開始）
場所：当センター会議室
人数：当日受付、先着 100 名

第 1 回　6 月 22 日 (土)
「江戸の小売酒 (仮)」
学習院女子大学 国際交流学部 日本文化学科教授　岩淵令治氏

第 2 回　9 月 28 日 (土)
「縄文犬の研究 ―現状と課題―」
慶應義塾大学 文学部教授　佐藤孝雄氏

第 3 回　11 月 23 日 (土・祝)
「餌から家畜を考える：先史時代のイヌとブタ」
東京大学総合研究博物館 放射性炭素年代測定室教授　米田穣氏

映像上映会

―川崎市宮前区土橋、土蔵の扉に貼られたお犬様のお札を辿ると、100 年程前に絶滅したニホンオオカミに行き着いた。―
オオカミと人の関わりを紐解くドキュメンタリーフィルム『オオカミの護符』を上映します。

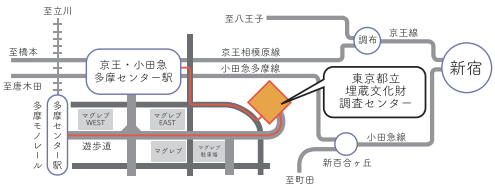
作品：『オオカミの護符』(73 分)
日程：2020 年 1 月 18 日 (土)
時間：13:30 ～ 15:00（13:00 受付開始）
場所：当センター会議室
人数：当日受付、先着 100 名

伝応神陵古墳出土　水鳥埴輪
学習院大学史料館所蔵

港区愛宕下遺跡出土　猿 土人形
東京都教育委員会所蔵

協力機関

学習院大学史料館、北区飛鳥山博物館、久万高原町教育委員会、慶應義塾大学民族学考古学研究室、新宿区教育委員会、東京都教育委員会、東村山ふるさと歴史館、日野市教育委員会



交通アクセス

京王線・小田急線「多摩センター駅」東口徒歩 5 分
多摩モノレール「多摩センター駅」徒歩 7 分

お問い合わせ先

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
東京都埋蔵文化財センター
〒206-0033 多摩市落合 1-14-2　☎042-373-5296

こちらの QR コードからホームページにアクセスできます。
https://www.tef.or.jp/maibun